

兵庫県温泉掘削地点選定理由書 作成要領

本要領は、温泉法（昭和 23 年法律第 125 号）に基づき兵庫県知事に対して温泉掘削許可申請を行うにあたり、申請書の添付資料「掘削地点選定理由書」の作成における留意点をまとめたものである。

なお、掘削地点選定理由書を作成するにおいて、本要領に記載のある全ての調査について義務づけるものではない。

1 既存資料調査

候補地の地質構造について、地形図や地質図、空中写真等から調査地に分布する地質や活断層の位置を確認する。

また、周辺の既存源泉について源泉データ（泉質、泉温、湧出量、地質柱状図等）を収集し、候補地付近の温泉の賦存層について検討する。

なお、選定理由書には、いずれの調査についても既存資料の出典等を明記すること。

2 地表地質踏査

候補地付近に露出する地層等を確認する。岩盤の種類やその分布、特に断層破碎帯や亀裂について調査し、選定理由書に反映させる。

なお、選定理由書には現地の写真を添付することが望ましい。

3 物理探査

物理探査を行った場合は、選定理由書に次の項目について明記すること。

(1) 電気・電磁探査について

ア 探査方法

（例：電気探査、MT 探査、CSAMT 探査、TEM 探査、TDEM 探査）

イ 探査技術から期待される探査深度

（例：〇〇m 程度～〇〇m 程度）

ウ 探査実施期間

エ 使用機器名

（製造会社名、型式等）

オ 測定項目

（例：地上において約〇m の間隔で電圧を測定、水平磁場を測定など）

カ 電磁探査の場合は測定周波数または測定時間

（例：〇Hz～〇Hz または 〇 μ sec～〇 μ sec）

キ 地下構造解析に用いたソフトウェア名（製造会社名）

ク 探査実施地点を地図に明示

ケ 人工信号源を用いた場合は、信号源（電極、送信ケーブル）の設置場所も地図に明示する。

(2) 放射線探査

- ア 放射線の種類（例：アルファ線、ベータ線、ガンマ線）
- イ 探査実施期間
- ウ 使用機器名（製造会社名）
- エ 探査実施地点を地図に明示

(3) その他の探査

- ア 探査方法（例：磁気探査、重力探査など）
- イ 探査実施期間
- ウ 使用機器名（製造会社名）
- エ 測定項目
- オ 地下構造解析に用いたソフトウェアがある場合はその名称（製造会社名）
- カ 探査実施地点を地図に明示

4 作成者等

掘削地点選定理由書には、次の事項が明記されていること。

- ア 理由書作成年月日
- イ 作成者氏名
- ウ 作成者所属（所属会社、所属大学等）
- エ 作成者連絡先

5 掘削孔計画断面図

取水を行うストレーナの設置予定位置を記載すること。

なお、掘削申請書に添付された掘削孔計画断面図と、実際の工事におけるストレーナの位置が明らかに異なることは認められず、必要に応じて温泉法第12条（温泉の採取の制限に関する命令）を適用する場合がありますので留意すること。

附則

この要領は令和6年4月1日から施行する。